

取組名称	地域と訪れる人をつなぐ共創型ローカルメディア「conomichi」			団体設立後の経過年数	38年
応募取組主体名称	東海旅客鉄道株式会社	活動地域	東海エリア	応募取組の活動年数	2年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する 実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

「心ひかれるストーリーで地域と訪れる人をつなぐ」ことをミッションに、東海旅客鉄道株式会社・株式会社JR東海エージェンシーが運営する「共創型ローカルメディア」。地域や企業の地域共創プロジェクトに構想から実行まで徹底的に伴走しています。

実績の要旨

- ・ 2023年6月の事業開始から累計26地域でプロジェクトを実施。4,000人を超える関係人口を創出しています。
- ・ 徹底した伴走と実践の場の提供により、連携事業者の地域共創人材の育成にも寄与。ドライな業務委託関係を越えた信頼関係を地域で構築しています。
- ・ conomichiによって自治体の境界を超えたノウハウ共有や、企業同士の連携が生まれています。

地域資源の活用	環境への貢献	環境負荷低減という対症療法的なアプローチを超え、人と自然との関係性を再構築しています。
	社会・経済への貢献	独自の「共創人口」という概念を通じて、地域課題解決の主体的な担い手を育成し、コミュニティの活性化に貢献しています。
	地域資源の活用	地域の有形・無形の資産を捉え直す「地域資源の再読」というアプローチで、地域固有の資産に新たな意味を与え、価値を最大化しています。
	普及・汎用性	この事業モデルは、特定の地域に依存しない高い汎用性を持ち、累計27地域での連携プロジェクトが生まれています。
	革新・ユニーク性	地域への価値創造を目的とする「共創人口」という全く新しい概念を提唱・実践している点は、社会課題解決における挑戦的な試みです。
	継続性	社会貢献をコストではなく、本業の収益に繋がる投資と捉えるCSVモデルによって事業の持続性を担保しています。

展望の要旨

単なる地域活性化の枠を超え、移動の価値を再定義し、人々の想いと可能性を運び、未来を共創する企業グループになります。